

中学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
1	1	保健	性に関する指導	養護教諭の計画による「性に関する指導」を実施した。助産婦さんを講師として招き、出産にまつわる具体的なエピソードを交えて、命の大切さはもちろん、母親の役割、父親の役割にもふれるお話をしていただいた。子どもを生むことも、育てることも。男女それぞれの立場で協力や、特性を理解し尊重し合うことが大切だと感じる生徒も多かった。
2	1	道徳	家族愛「ビデオテープ」	資料「ビデオテープ」を読み、幼い頃の主人公を優しい笑顔であやす母親の姿や、我が子の成長をビデオに残そうとする父の姿を知り、それぞれの立場で自分をかけがえのない子どもとして育ててくれた父母の思いを理解した。また、親が、自分自身に対して、どんなときにどんな言葉をかけたり、接したりしてくれたかを考えることによって、父親や母親の思いを理解し、狭量して子どもを育てる家族の大切さを考えることができた。
3	1	学活	将来の職業	将来の職業について書かせ、1人ずつ発表させ、出てきた職業についてクラスに話し合いをさせた。教師側で「男女差のある職業」について意見を出させ、現在の日本ではほとんどの職業が男の別なく働くことができることを再認識した。
4	2	技術 家庭	幼児と かかわろう	<ul style="list-style-type: none"> ・1学級ずつ、児童館で赤ちゃんとのふれあい交流を実施した。3ヶ月～4歳までの乳幼児および母親との交流を通し、母親がいかに子どもを思っているかを知ることができた。 ・男子は妊婦体験を実施し、妊婦や母親の苦勞を感じ取ることができた。
5	2	保健 体育	からだの発達 ・発育	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の各器官の発育・発達について、保健の授業を行った。 ・男性は男らしく、女性は女らしく、心と身体が変化することを知識として学んだ(男女の違い) ・その中で異性との関わり方や性を受け止めること ・自分らしさを自分自身が認めること ・個人差があることや男女の違いがあるが、個は一人一人であることから差別をなくす意識付けをした。
6	2	道徳	たまたま女に 生まれただけ	最初に水色の紙に女、ピンクの紙に男と書き、黒板にはった。生徒達は「色が逆だ！」と言ったので「それは先入観ではないのか」という話から入った。「女こうあるべき」「男はこうあるべき」という先入観や偏見にとらわれず、男女は同じ人間として平等であり協力し合うことが大切であるという結論につなげた。
7	2	道徳	母の反撃	家での生活を振り返り、どんな仕事があるのかを導入であげさせ、その仕事を誰がやっているのかを書かせた。その後資料を読ませ、親にどれだけ負担をかけて自分が生活できているのかを気づかせた。仕事の分担をしている生徒に意見を発表させ、今後家族の一員として、何をしていかなければならないかを考えさせた。
8	3	社会	人権と 共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・平等権を扱う中で、女性差別をなくすために、男女雇用均等法や男女共同参画社会基本法が制定されたことを教えた。 ・日本における女性の働いている割合のグラフから、20代後半から30代前半の割合が減少していることより、もっと女性が働きやすい環境を整えていくことが必要であることを確認した。

中学校

No.	学年	教科	単元名	内 容
9	3	社会	人権と共生社会	<p>◎賃金格差や労働問題から見た男女平等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の賃金格差があること、日本は結婚や出産を機に仕事を辞める女性が多いことなどをグラフから読み取った。 ・男女機会雇用均等用について教え、架空の求人広告の社員募集を見て、どこが問題なのかを考えた。 ・男女共同参画社会基本法について触れ、労働だけでなくその他の面でも男女が共同して作り上げていく社会が目指されていくことを教えた。 <p>◎文化人類学的、ジェンダー論から見た男女平等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イングランドの伝統衣装スカートを書いている男女の写真を見せる ・ニューギニアの3つの部族のジェンダー感について教える ・男はズボン、女はスカートという考え、男は黒いランドセル、女は赤いランドセルなどの例を挙げ、それらの違いは文化や社会の中で作られた違いであることに気づかせる。 ・ジェンダー(社会的性差)、セックス(生物学的性差)について教える。 ・女だと思っていたのに男だった人の話や、インターセックス(半陰陽)、トランスジェンダー(性同一性障害)の例を教え、生物学的にも境界が曖昧であることを教える。 ・逆に、『男性差別』というものもあることを教える(男は強くあるべきという考え、男子だけ着替えの場所が外、男子トイレが外から見やすい場所にあるなど) ・男女差別やジェンダーについて考えたことを紙に書かせる
10	特支	家庭	かんたんに作れて食べておいしい料理	<p>将来自立することを目指す生徒達なので、料理が一人でできる力もつけたいと考えています。男女関係なく、「料理するの楽しい」「家でも手伝いをしたりみんなに作ってあげたい」と思える授業を実践しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの畑で育てたさつまいも・スイートポテト ・かんたんにおいしく作れるナポリタン ・クリスマスケーキ ・栄養素とそのはたらき <p>毎日先生方に試食していただき、食べる人に喜んでもらえるという実感も、もっているようです。</p>
11	特支	生活単元	あざれあでの学習	<p>市内清水区中学校に設置されている一部の特別支援学級が集まり、校外学習の機会を活用して男女共同参画センター「あざれあ」にて男女共同参画に関する学習を実施した。</p> <p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県くらし環境部県民生活局男女共同参画課主催「あざれあ学校セミナー」 ・SWOSの会が、演劇を通じて、男女共同参画の意義について講話 <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アットホームな雰囲気です。演劇鑑賞ができたこともあり、「男女共同参画」という言葉が身近に感じられた様子だった。
12	1 2 3	道徳		<p>道徳年間指導計画に基づいて、「男女の人格尊重」の内容を、各学年1時間ずつ行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年 『母の反撃』 2年 『たまたま女に生まれただけ』 3年 『M君とN子さんの場合』